数学外書輪講I

担当 丹下 基生：研究室 (B715) mail(tange@math.tsukuba.ac.jp）

第3回（'19 年 5 月 9 日)

授業の進め方

1. 担当者は担当箇所を読み、発表に向けて練習をしておく。
2. 必ず発表用のノート (板書ノート) を作る。
3. ノートを作ったあと、一度ノートを見ないで練習をしてみる。この時、説明が詰まった部分があればそこが理解していない部分である。もう一度理解に努め、ノートを見ずに練習をする。
4. 日本語で丁寧に板書をしながらわかりやすく説明をする。
5. 著者が証明を省略しているところは、証明と書いてなくても必ず補って証明をすること。
6. 証明を行う場合には、説明を口頭で行うのではなく、黒板に書かれた記述がそのまま証明として採用される (例えば入試などで採点ができるほどの証明) になっていること。
7. 説明をすることは全て板書すること。
8. 聴衆は発表者の説明をノートにまとめ、不明な点があれば必ず質問をする。
9. 教員や学生からの質問に明確に答えること。

各発表の成績基準

A^+ ：内容について完璧に理解しており、問題なく証明や説明がスムーズに行える。質問についてもその場で的確に答えることができる。

A ：板書、説明がよくでき、内容について若干理解していないところがあっても、後日修正して完全に説明ができる。

B ：板書や説明が若干分かりにくいが、内容については理解している。質問に答えることができないことがある。

C ：予習はやってきているが、説明が不十分であり、証明として板書ができていない。内容について理解していないことがある。

D ：予習をやってこない。内容についても理解できていない。

ホームページ：**http://www.math.tsukuba.ac.jp/~tange/jugyo/19/gai.html**
blog：**(http://motochans.blogspot.jp/)**
Twitter：**BasicMathIIB**
相談、質問などいつでも承ります．アドレスはプリント 1 ページ目上部.